

2020



中川真依の
Go!Go!
東京オリパラ

東京オリンピック・
パラリンピック開催まで

あと **8** か月

初開催！ こまつ親子スポーツ大学

アジア初の開催となった「ラグビーワールドカップ」は、日本が悲願のベスト8入りを果たし、歴史的快挙を成し遂げました。小松市でもパブリックビューイングを行っていましたが、皆さん観戦されましたか。スポーツは、私たちに多くの「夢・希望・感動」を与えてくれます。ますます、東京オリンピック・パラリンピックが待ち遠しいですね。



今月は、9月号の「こまつ子どもスポーツ大学」の特別編「こまつ親子スポーツ大学」についてお話ししたいと思います。今回の対象は、市内年中・年長児、小学1、2年生と保護者の皆さんです。幼い頃の身体感覚への刺激は大切で、日頃から親子で楽しく運動遊びをすることは、「走る」「跳ぶ」「投げる」といった運動の基本を養うことができ、子供たちの身体能力の向上につながります。対象者には学校や保育園・こども園を通じてチラシが配布されます。日程や申込方法などの詳細は、「くらしのかんづめ」17ページをご覧ください。皆さんもお子さんと一緒に身体を動かしましょう。



▲親子で運動遊びを楽しもう。

問い合わせ スポーツ育成課 ☎24・8139



～国際交流員フィミンのこまつ新発見～

多文化共生の「文化融合」



「シンガポール風塩焼きそば」を聞いたことはありますか。

これは先日、シンガポールの多民族・多文化社会を紹介する英語の講座において参加者と一緒に創作した料理で、小松名物の塩焼きそばをシンガポール風にアレンジしたものです。

このような「文化融合」(cultural fusion)は、シンガポールではよくあることです。シンガポールは元々、世界の寄港地として成立し、現在でも様々な分野において多くの外国人を誘致しています。約560万人の人口のうち約160万人は在住外国人なので、新しい考えや習慣、文化が日常的に入ってきます。季節が変わらないシンガポールですが、文化は常に変わり続けています。混乱や対立もありますが、そういう環境で育ったことは自分の成長にとって大切な要素だったかもしれません。毎日、異文化の教育を受け、新たな視点から世界をちょっとずつ理解できるようになりました。



日本も小松市も今後ますます国際化していくでしょう。それは新しい考えを受け入れ、多彩なまちづくりを進めるきっかけになると信じています。私もそういう国際化の機会を作りながら、小松の人々と異文化に関する勉強を続けたいです。これから「シンガポール風塩焼きそば」より、更に面白い文化融合を皆さんと行っていくことを楽しみにしています。

問い合わせ 観光文化課 ☎24・8039